

# تقديم

## (アラビア語で「プレゼンテーション」)

みなさん、こんにちは!

インバウンド観光対応の地域おこし協力隊、田川奈美です。

今月は蜷城小学校の6年生のみなさんを対象に、「国際協力」と「異文化理解」をテーマにしたプレゼンテーションを実施する機会を頂きました。



JRC (青少年赤十字) 加盟校として、日ごろから生徒のみなさんが国際協力や地域でのボランティア活動に積極的に取り組んでいる蜷城小学校。みなさん色々な質問をしながら、熱心に参加してくれました。

まずは、私が以前従事していた国際協力の仕事についていくつか紹介しつつ、国際協力に関心を持つようになったきっかけや、実際に仕事をする中で感じていた疑問や想いなどについて話させて頂きました。

次に、チームメンバーに、それぞれ小学生だった頃の話を通して各国の小学生生活の違いを紹介してもらいました。

ナヘドが通っていたチュニジアの小学校は夏休みが4ヵ月もある上に、春・秋・冬休みもあること、ヘイが通っていた香港の小学校は半日しか授業がなく、午前のみ通う生徒と午後のみ通う生徒に分けられていたこと、明野が通っていた川崎の小学校は帰国子女が多く、彼らが各国から持ち帰ったおもちゃや楽器を展示する部屋があったこと、等々。

プレゼンテーションが終わった後も次々に質問をしてくれる生徒さんが多く、こちら大変嬉しく & 楽しくやらせて頂くことができました!

